

全国学力・学習状況調査の実施サイクルにおける課題と改善提案

益川弘如（聖心女子大学）

■新学習指導要領実施に向け、資質・能力を育む主体的・対話的で深い学びを実現する単元・授業の実施やカリキュラム・マネジメント設計に対して効果的に活用していただくため、以下のようなPDCAサイクル見直しが必要ではないだろうか。

1. 教科の専門家に加え学習・思考過程に詳しい学習研究者も交えた「課題分析（タスクアナリシス）」に基づいた教科問題の作問・解説・調査結果・授業アイデア例などの一体的・連続的作成
2. そして1.の中身を評価・改善する仕組みとして、学校現場や検証テストなどからの「児童生徒の学習の過程と成果のエビデンス」のフィードバックに基づく学校現場と作成実施側が一体となった教科問題の作問・授業アイデア例などの質的な改善サイクルの実現
3. 上記1. 2.と対応できる形で授業改善・学校改善に役立つ質問紙内容に修正していくサイクルの実現

■現状の全国学力・学習状況調査のPDCAサイクルの課題点

・そもそも「課題がある」と結論付けている点が本当にそうなのか？毎年同じような箇所について「課題がある」と指摘しているが、実際改善につながっていないのはなぜなのかの仮説と振り返り（データに基づいた検証）はされているのだろうか？

例えば、「授業アイデア例（小学校）」の3・4ページ「調べたことを報告する文章を書くことに課題がある（正答率28.9%）問題番号 1三」を取り上げると…

・解答類型99が21.3%を占めている。この原因は？もしかしたら、他の部分に課題があるのではないだろうか？

※太字かつ下線付きの箇所の類型が、正答を表す。

問題番号	問題の概要	解答類型										児童数の割合(%)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	99	無解答		
1三	公共電話について調べたことを【報告する文章】の「 <u>に</u> 」 「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをま とめて書く	28.9	0.0	7.4	19.5	7.1	10.3	1.0	0.8	21.3	3.7		
(正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)の両方から、分かったことについて言葉や文を取り上げて書いている。 ② 【報告する文章】にふさわしい表現で書いている。 ③ 書き出しの言葉に続けて、40字以上、70字以内で書いている。													
1	◎	条件①、②、③を満たしているもの											
2		条件①、②は満たしているが、条件③は満たしていないもの											
3		条件①は満たしているが、条件②は満たしていないもの											
4		条件②は満たしているが、条件①は満たしていないものうち、「2 調査の内容と結果」の(1)からのみ、分かったことについて言葉や文を取り上げて書いているもの											
5		条件②は満たしているが、条件①は満たしていないものうち、「2 調査の内容と結果」の(2)からのみ、分かったことについて言葉や文を取り上げて書いているもの											
6		条件②は満たしているが、条件①は満たしていないものうち、「2 調査の内容と結果」の(1)や(2)から、分かったこと以外の内容について言葉や文を取り上げて書いているもの											
7		条件②は満たしているが、条件①は満たしていないものうち、「2 調査の内容と結果」の(3)から、言葉や文を取り上げて書いているもの											
8		条件②は満たしているが、条件①は満たしていないものうち、「1 はじめに」や「3 調査の結果をもとに考えたこと」から、言葉や文を取り上げて書いているもの											
99		上記以外の解答											
0		無解答											

・解答類型99の21.3%に加え、解答類型4の19.5%、解答類型6の10.3%と誤答割合が高い子どもたちに対して効果があるような授業アイデア例に本当になっているのだろうか？

